

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
柔道整復科											
柔道 2											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	宮本 功三 難波 英樹			実務 経験	有	職種	柔道整復師				
授業概要											
柔道は、心身の力を最も有効に使用する道である。その修行は、攻撃防御の練習によって、身体精神を鍛練修養し、其の道の神髄を体得する事である。よって、柔道の理念である「精力善用・自他共栄」の体得と実践を目指すのがねらいである。柔道の歴史を理解し、さらに受身を理解していくことで怪我の発生機序についても理解させていくことを目的としている。											
到達目標											
本来、柔道整復師としての柔道教育は、競技目的の柔道を教育するものではなく、昇段を目指し柔道整復師の技術のバックボーンである手技や人格の形成、心身の鍛錬を目的とし、人としての振る舞いの基本（人に対しての接し方や対話の仕方）、礼儀作法の習得が最終目標であることを理解する。また、「礼法」の所作を学校生活はもちろんのこと、家庭生活、社会生活の日常で実践できることを目標とする。											
授業方法											
柔道は、精神と身体の力を合理的に使用することが必要であり、単に柔道の技能だけを学ぶだけでなく、医療従事者への社会生活すべてのことを行う原理として応用できるものと考えられることを理解していく。柔道を行うことによって、お互いに協力し、助け合い、譲り合い、それによって自他共に向上することが社会の発展に役立つことを理解していく。											
成績評価方法											
試験と課題により評価する。											
履修上の注意											
柔道は、相手を投げ、抑え込み、首を絞め、関節を極める技を用いて攻防を行うので、常に危険と隣り合わせである。柔道の攻防の際に生じる危険な状態をよく理解し、未然にそれを回避する能力をつけることを意識する。危険と隣り合わせである授業だけに、意味のない授業中の私語や授業態度は厳しく対応する。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位が認められない。											
教科書教材											
教科書（イラスト柔道 -品川区柔道会 日本柔道整復専門学校 監修-）に準拠する。											
回数	授業計画										
第1回	大腰ができる。										
第2回	一本背負投ができる。										
第3回	背負投ができる。										

柔道 2

第4回	体落ができる。
第5回	釣込腰ができる。
第6回	払腰ができる。
第7回	内股ができる。
第8回	左右の前回り受身、各投技ができる。
第9回	抑え技、絞め技、関節技を理解する。
第10回	上四方固、崩上四方固、横四方固、縦四方固ができる。
第11回	袈裟固、肩固ができる。
第12回	裸絞、片羽絞、送襟絞ができる。
第13回	逆十字絞、腕挫十字固ができる。
第14回	左右の前回り受身、各投技・絞技ができる。
第15回	半期の総括